

少子化緩和の切り札として、人口学者は「二人っ子政策」への転換を政府に提言している。11年7月には、1億人を超える人口を抱える広東省の省政府が、少子高齢化への対応策として一人っ子政策の見直しを中央政府に正式に申請した。具体的には、夫婦のいずれかが一人っ子の場合、2人目の子どもを産むことができるというものである。これは、現状で夫婦ともに一人っ子の場合に第2子の出産が認められているのを、夫婦

のいずれかが一人っ子の場合に拡大するにすぎないのだが、それでも中央政府の腰は重く、現在に至るまで正式な回答や発表はない。そもそも一人っ子政策は、58〜60年の農工業の大増産政策「大躍進」の反動から生まれたものである。食料不足から大勢の餓死者を出して失敗に終わった大躍進の後、出生率が急上昇して社会に混乱をもたらした。このトラウマがある限り、一人っ子政策の見直しは難しいのかもしれない。

仮に一人っ子政策が見直された場合、どうなるのだろうか。長期にわたる一人っ子政策継続によって、出生年齢人口は減少していくため、減少に転じる人口が再び増加することはあるまい。政策見直しの効果は、出生率のある程度の上昇により、少子化の進行をより緩やかなものにする程度にとどまろう。

しかも、都市圏では不動産価格高騰による住居コストの大幅上昇、人材の質的向上に伴う教育費の高騰、ライフスタイルの変化による未婚比率の上昇や晩婚化など、一人っ子政策以外の出生率低下要因もあり、出生率が大きく上昇する可能性は低い。既に北京や上海など大都市の合

2020年以降深刻に

計特殊出生率は1を割り込んでいく。むしろ、男子の出生を望む傾向の強い農村で、ある程度出生率が上昇する可能性があるが、都市と農村を分断する戸籍制度が存続する限り、中国全体の労働力の質的向上が阻害され、貧富の差が固定化されるといった弊害が生じてしまうリスクがある。

中国人民銀行と西南财经大学が共同で設立した中国家庭金融調査・研究センターが12年5月に発表した「中国家庭金融調査報告」によると、80年生まれ以降の大学卒業以上の学歴保有者の割合は全国で20%弱、都市は40%強となっている。同調査では都市化率は51・4%とされ、農村で大学卒業以上の学歴を有する人々はほぼゼロとなる計算である。

その一方で、現地報道では教育部が管轄する大学に進学する人々のうち、農村出身者は全体の3割程度を占めるとされる。この謎を解く鍵は、中国独特の戸籍制度にある。中国の戸籍は非農村戸籍（城市戸籍や城鎮戸籍と呼ばれる）と農村戸籍の二つがある。農村戸籍の人々が都市の大学に進学した場合、大学が管理する集団戸籍に移され、卒業後には都市に残るにせよ、農村に戻るにせよ、非農村戸籍が与えられる。基本的に、農村戸籍の人々が大学に進学すると、再び農村戸籍に戻ることはない。

少子高齢化 想定以上に早い生産年齢人口減 一人っ子政策転換でも止まらない

少子高齢化対策として一人っ子政策をやめる議論も出ているが、ライフスタイルの変化などで出生率の大きな上昇は見込めない。

さいとう 齋藤 尚登 (大和総研経済調査部シニアエコノミスト)

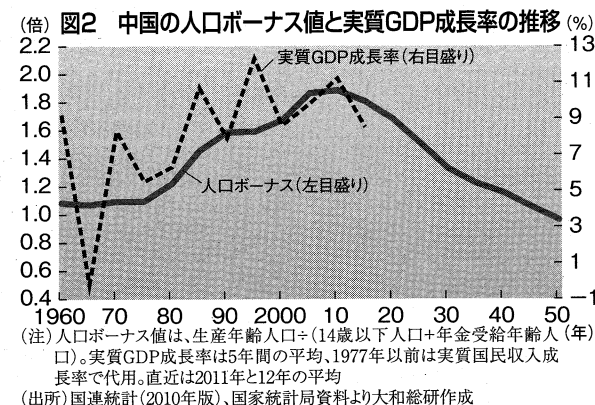
2012年の中国の生産年齢人口は9億3727万人と、前年比で345万人の減少に転じた。10年版の国連人口予測では、生産年齢人口は15年にピークを迎え、20年からの15年間で1億人以上減少するとしていたが、中国の少子高齢化は想定以上に早く進行していることが明らかになったのである。

国の年金受給年齢人口の総人口に占める割合は、90年の10・6%から00年には12・0%に、そして10年には15・2%に達した。

一般に、高齢化率が7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた社会を「高齢社会」と呼ぶ。年金受

「二人っ子政策」を提案

この先、少子高齢化問題はさらに先鋭化する。国連人口予測をもとに計算すると、①年金受給人口の構成比は20年には20%を超え、35年には30%を超え、年金受給年齢人口1人を支える生産年齢人口は10年の4・3人に対して20年は3・0人、35年は1・8人に低下する、②人口ボーナス値は10年にピークを迎え、その



後低減する、③人口全体としては25年の13億9500万人をピークに減少する、ことになる。

人口ボーナス値は、生産年齢人口÷従属人口(14歳以下人口+年金受給年齢人口)で計算される。人口ボーナス値が高いということは、働き手が多い一方で、養育費のかかる子どもと年金・医療の社会負担の大きい高齢者が少ない状態であり、人口ボーナス値の上昇により、経済には労働投入量の増加、社会負担の減少、貯蓄率の上昇といったプラスの効果をもたらされる。少子高齢化の進展でこの歯車は逆回転する。すなわち、労働投入量の減少、高齢者社会負担の増加、貯蓄率の低下が、経済成長を押し下げるのである(図2)。